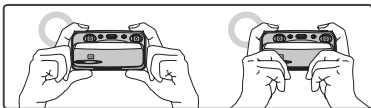


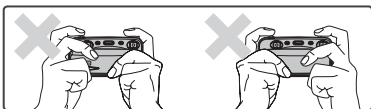
カメラを構えて、構図を決める

1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。液晶モニターは正面から見てください。

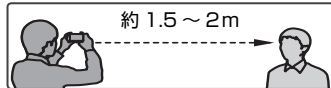


- カメラを持つときは、指がかりを防ぐためレンズの下のスペースを十分にあげてください。
- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になったり、立体に見えにくいことがあります。ご注意ください。



●● **3D** 撮影の推奨距離範囲

3D 撮影をするときは、被写体との距離を約 1.5m ~ 2m (広角端) 離して撮影すると、うまく撮影できます。



2 構図を決めます。

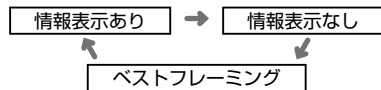
- 被写体の中心を液晶モニターの AF フレームに合わせ、構図を決めます。
- このカメラは光学ズームを装備しています。ズームレバーを動かして、構図を調整します。
- 液晶モニターを横から見ると、立体に見えないことがあります。

← チェック

- 推奨距離範囲外 (→ 121 ページ) の被写体を撮影した場合、立体に見えにくいことがあります。
- 遠景や夜景など、立体に見えにくい被写体があります。
- 画面の端にある被写体は、立体に見えにくいことがあります。

●● フレーミングガイドを使う

撮影時に **DISP/BACK** ボタンを押すごとに、液晶モニターの表示が次のように切り換わります。



ベストフレーミング : ベストフレーミングを使うと、縦横にガイド線が表示され、構図が決めやすくなります。

← チェック

「情報表示なし」にすると、**3D** 画像が見やすくなります。